



第6回J-HPHカンファレンス2021

オンライン開催

# ポストコロナ時代を展望する

ヘルスプロモーションを通して公正な社会づくりに貢献する

COVID-19の感染流行は1年半ほどを経過しています。今回も含め4回にわたる緊急事態宣言の発出を余儀なくされるほど、繰り返し感染に襲われました。医療と介護の現場では、感染のリスクに不安を感じながらもスタッフは懸命に従事してきました。一方、働く場を失い困窮状態に陥る人達や困窮のために医療にアクセスできない人が増加するなど、日本社会の綻びが可視化されてきました。そこで、ヘルスプロモーションの視点でコロナ禍で経験した課題を整理し、コロナ収束後の社会を公正な社会とするためにヘルスサービスが貢献すべき課題について議論することにしました。多彩なプログラムを用意していますので、多くの皆さんの参加と視聴を期待しています。

オンデマンド配信・  
ポスターセッション掲載期間

2021/10/30土~11/28日

LIVE企画

2021/11/13土 13:00~17:10

申込開始

2021年9月1日(水)

参加費

HPH加盟の方5,000円 / HPH非加盟の方7,000円 / 大学生・大学院生1,000円

※1名につき1アカウント(メールアドレス)が必要です。

※参加費の振込確認後、11月9日(火)および11月12日(金)に視聴ページのURLとパスワードをお送りする予定です。

オンデマンド配信

●基調講演1

ポストコロナ時代に求められるヘルスプロモーション ~健康社会学の視点で~

講師：島内 憲夫(日本HPHネットワークCEO・順天堂大学名誉教授・医学博士・広島国際大学客員教授)

●基調講演2

農民・住民とともにあゆむ医療 ~佐久総合病院の経験からポストコロナ時代のあるべき医療と社会を語る~

講師：伊澤 敏氏(JA 長野厚生連佐久総合病院 臨床顧問)

●特別講演

台湾のHPHにおけるCOVID19への対応(仮題)

講師：WANG Ying-Wei氏(前 台湾厚生省健康推進局局長・前 台湾 HPHコーディネーター)

ポスターセッション

掲載期間中はいつでもWEB上で演題を閲覧することができます。

LIVE企画

●パネルディスカッション

コロナ禍の健康格差解消の実践とこれからの課題 ~ヘルスサービスと地域の現場から~(仮題)

パネラー：稲葉 剛氏(一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事・立教大学大学院21世紀デザイン研究科 客員教授)

：大平 路子氏(社会医療法人同仁会 耳原総合病院 サポートセンター 医療福祉相談室MSW)

コメンテーター：近藤 尚己氏(京都大学大学院医学研究科国際保健学講座社会疫学分野 教授)

●ワークショップ

WS1：LGBTQと医療について学ぼう(定員36名)

WS2：コロナ禍で露呈したアルコール問題への対応を地域で考える

WS3：在留外国人の人権と健康問題について考える

教育講演：COVID-19実践リレートーク



第6回

J-HPHカンファレンス2021 オンライン開催

## ポストコロナ時代を展望する

ヘルスプロモーションを通して公正な社会づくりに貢献する

オンデマンド配信・  
ポスターセッション掲載期間

10月30日(土)～11月28日(日)

あいさつ

「カンファレンスの企画のねらい」 尾形 和泰(日本HPH運営委員)

基調講演1

「ポストコロナ時代に求められるヘルスプロモーション～健康社会学の視点で～」  
講師:島内憲夫(日本HPHネットワークCEO・順天堂大学名誉教授・医学博士・広島国際大学客員教授)

基調講演2

「農民・住民とともにあゆむ医療～佐久総合病院の経験からポストコロナ時代のあるべき医療と社会を語る～」  
講師:伊澤 敏氏(JA 長野厚生連佐久総合病院 臨床顧問)

特別講演

台湾のHPHにおけるCOVID-19への対応(仮題)\*日本語字幕あり  
講師:WANG Ying-Wei氏(前 台湾厚生省健康推進局局长・前 台湾 HPH コーディネーター)

ポスターセッション

今回のカンファレンスでは、PDFポスターをJ-HPHのウェブサイトに掲載します。掲載期間中はいつでもWEB上で演題を閲覧することができます。ポスターセッション演題募集要項・ポスター作成要領はウェブサイトをご参照ください。

LIVE企画

11月13日(土)13:00～17:10

13:00～13:06

開会あいさつ

13:06～14:36

■パネルディスカッション

「コロナ禍の健康格差解消の実践とこれからの課題～ヘルスサービスと地域の現場から～」

■ワークショップ1(定員:36人)

「LGBTQと医療について学ぼう」

LGBTQの人々は、日本で行われた調査では約3～9%と報告されており、日常診療でも必ずLGBTQの人々に対応しているはず。LGBTQの人々は様々な健康格差に晒されていることも明らかになっており、医療従事者に適切な知識がないことが医療アクセスへのバリアとなってしまうこともあります。性の多様性に関する基礎知識を学び、LGBTQの人たちが受診しやすい環境作りについて一緒に考えましょう。

■ワークショップ2

「コロナ禍で露呈したアルコール問題への対応を地域で考える」

COVID-19の蔓延後、アルコール問題を抱えた患者(肝硬変で死期が迫った方、重度の認知症など)の入院が増えている。これはコロナ禍で問題が露わになってきただけで、実際はそれより以前から問題を抱えていた方が、コロナ禍をきっかけに破綻していることが多い。ここではアルコール依存症について専門家に学び、地域の中でアルコール問題を抱えた方を早期に見つけ、我々にできる対応を考える。

14:50～16:50

■ワークショップ3

「在留外国人の人権と健康問題について考える」

現在、日本には200万人を超える外国人が暮らしています。その中には難民申請しても認定されず、在留資格も持たないまま不安定な生活を余儀なくされたり、いわゆる技能実習生として来日したものの、過酷な労働条件から逃げ出したり、コロナ禍で突然解雇を言い渡され、職を失い、在留資格も失って路頭に迷う人々もいます。このような人々は不法滞在者とされ、生活基盤を失い、医療などの社会保障も受けられず、過酷な生活を送っています。このような人々に対して私たちはどのような支援ができるのか、みんなで一緒に考えていく企画です。

■教育講演

「COVID-19実践リレートーク」

COVID-19により傷ついたのは患者・利用者の方々だけではありません。多くの地域住民、職員が、感染の恐怖に耐えながら悩み、迷いながら前に進めてきました。いわれのない誹謗中傷や精神的圧迫にもさらされ、経済的困窮にも追い詰められてきました。人々のコミュニケーションが分断され初回の孤立が深まる中、私たちはどのように援助の手を差し伸べ、また援助を受け入れてきたのでしょうか。その経験を交流します。

17:00～17:10

ポスター表彰、閉会あいさつ

## 【注意事項】

- 本カンファレンスのオンデマンド企画は、視聴ページのURL、パスワードを参加費をお支払いいただいた参加者のメールアドレスのみに後日送付いたします。LIVE企画はZoomで開催します。1名につき1アカウント(メールアドレス)が必要です。参加者ご自身の接続環境や操作法に起因するトラブルには当ネットワークは責任を負えませんのでご了承ください。視聴情報を転送・共有することは固く禁止させていただきます。
- 参加費ご入金後の返金は行いませんので、予めご了承ください。